

大磯港事業実施報告書

(1) 業務の運営に係る総括

ア) 組織体制

- 大磯港の人員配置計画に従い、平日は正職員2人及び再任用職員1人、臨時職員2～3人。土曜日は正職員1人又は再任用職員1人、臨時職員2～3人にて管理業務を行いました。
なお、4月末から5月初めの連休、及び8月のお盆の時期の日曜日・祝日は正職員1人又は再任用職員1人、臨時職員2～3人の勤務体制をとりました。

イ) 内部管理体制

- 「大磯町事務分掌等に関する規則」に基づき、大磯港管理運営の事務を担う「産業観光課みなと推進係」として管理事務を執りました。分担外の事務を相互に援助・処理するために毎朝ミーティングを行い、課題等の共通認識を持つとともに、素早い対応を心がけ、利用者サービスの向上と適正な運営管理を行いました。

ウ) 職員研修結果

- 大磯町の人材育成基本方針に基づき、複雑・多様化する町民ニーズに柔軟かつ適切に対応していくため、人事管理研修や職員研修に参加しました。
また、港湾管理者として知識を深めるため各団体が主催する研修会等に参加しました。

研修名称 働き方改革研修（マニュアル作成）

開催日 平成30年7月5日（木）、6日（金）

研修名称 「クレーム対応（リーダー・監督者級）」研修

開催日 平成31年1月15日（火）、16日（水）

研修名称 大磯町職員特別研修

開催日 平成31年1月16日（水）

研修名称 三町（大磯町・二宮町・寒川町）合同研修 キャプテンシー研修

開催日 平成31年2月12日（火）

(2) 利用承認業務に係る総括

ア) 利用承認業務

- 港湾の設置及び管理等に関する条例、同施行規則に基づき岸壁や荷さばき地の利用承認業務を行いました。必要な項目は港湾管理システムへデータ入力を行い、利用料金等の二重確認を行いました。
- 利用承認申請手続きにおいては、個人情報保護に細心の注意を払い、外部への情報漏れの無いよう細心の注意を払いながら事務を執行しました。
- 大磯港への砂利運搬船の入出港計画を事前に把握するため、前週末までに翌週の入出港予定表を岸壁利用者へ提出を求めました。
- 船舶の入出港時に目視による船舶確認を行い、港営日誌に記入するとともに、利用承認申請書との内容確認を行いました。

イ) 利用者指導・調整等

- 西荷さばき地を利用している骨材事業者の骨材運搬車両に起因する飛砂の防止対策や、交通安全に配慮した運搬経路について、特にポートハウスでるがさきの利用者等に配慮した協力依頼並びに注意喚起を口頭により行いました。
- 骨材事業者が岸壁利用承認申請書に貼付する神奈川県収入証紙を管理事務所で販売し、利便性の向上を図りました。

(3) 維持管理業務に係る総括

ア) 施設維持管理業務

- ・ 災害時等における緊急作動の際に支障とならないよう、防潮門扉の維持管理業務として毎月1度、正職員又は再任用職員と臨時職員により作動確認及び清掃作業を行いました。
- ・ 大磯港管理事務所庁舎の清潔を保つための清掃業務委託及び盗難や火災を防止し、施設及び物品の保全を図るため警備業務委託の契約を締結しました。
- ・ 施設利用者や観光客が快適に利用できるよう、北浜海岸常設公衆トイレや臨港道路附属駐車場公衆トイレの清掃管理を行いました。
- ・ 高圧受電設備等の保安管理の委託の契約を締結して月次点検及び年次点検を実施しました。
- ・ 臨港道路附属駐車場の適正な維持管理を図るため、機械警備を含めた管理運営業務委託の契約を締結を行い、駐車場自動料金精算システムの保守点検を定期的に行い正常動作の確保を図りました。
- ・ 臨時職員により港湾管理施設内の廃棄物回収、分別、港内巡視、草刈除草、破損箇所補修、施設・設備・用具点検、屋内清掃等を行いました。

イ) 災害時対応業務等

- ・ 台風等による高波で防波堤を越えて波が打ち寄せる場合は、臨港道路ON・OFFランプの閉鎖業務を行い、西湘バイパスへの通行制限を実施しています。また、港湾内に流入した海水により飛散した土砂等の除去作業を迅速に行い、港湾施設の利用に支障の無いよう応急対策を行いました。

対応日	平成30年7月28日(土)	～	平成30年7月29日(日)	台風により
	平成30年8月7日(火)	～	平成30年8月9日(木)	台風により
	平成30年8月23日(木)	～	平成30年8月24日(金)	台風により
	平成30年9月4日(水)	～	平成30年9月5日(木)	台風により
	平成30年9月30日(日)	～	平成30年10月1日(月)	台風により

(4) 開かれた港湾に向けた取組に係る総括

ア) 開かれた港湾に向けたイベント等実施結果

- ・ 毎月第3日曜日の9時から「大磯市(おいそいち)」が開催されました。旬の魚や野菜のみならずアーティストの作品展や起業家のアンテナショップなどにも開放する市場を開催しており、多くの来場者がありました。7月は気温の下がる17時から開催されました。主催は、大磯市実行委員会。

来場者数 52,645人 (4月は荒天のため中止)

- ・ 毎月第3日曜日の大磯市の開催に合わせて、港湾管理事務所の屋上開放を実施しました。大磯市実行委員会による屋上開放のアナウンスを行ったこともあり、多くの方が訪れました。(4月～6月実施)
- ・ 8月初旬には「なぎさの祭典」が開催されました。大磯港の夜空に大輪の花火が打ち上げられました。主催はなぎさの祭典実行委員会。

開催日 平成30年8月4日(土)

観覧者等 5,000人

- ・ 小学校等の夏休み期間中に「漁業体験イベント」が開催され、根魚等の稚魚の放流と魚のさばきかた教室が実施されました。また、平成27年度まで農水産物まつりの際に実施していた箱舟乗船体験も併せて行われました。主催は大磯港みなとまちづくり協議会。

開催日 平成30年8月6日(月)

漁業体験イベント参加者 14組 32人

箱舟乗船体験参加者 3組 7人

- ・ 大磯港で星空を観察し、星に関する知識を学とともに「みなと」という地域資源を再認識してもらうことで今後の来訪につなげることを目的に「星空の観察会」を実施しました。大磯港みなとまちづくり協議会と町の共催。

開催日 平成30年10月21日(日)

参加者 6組 14人

- ・ 広く一般の方々に西防波堤から初日の出をご覧いただくため、1月1日に午前6時30分から西防波堤の開放を行いました。天気が良いこともあり多くの来場者がありました。大磯港まちづくり協議会及び大磯町による共催。

開催日 平成31年1月1日（月・祝）
来場者 830人

- ・ 和風の仕組みなどを理解し、自分で製作した凧を大磯港芝生広場で揚げることで親子のふれあいの場を作るとともに今後の来訪につなげることを目的に「和凧作り教室」を実施しました。大磯港みなとまちづくり協議会と町の共催。

開催日 平成31年2月11日（月・祝）
参加者 5組15人

イ) 利用促進・広報等

- ・ 前記イベントの開催について町広報にて周知が行われました。

ウ) 利用者満足度調査の実施しました。

実施期間 平成30年9月10日（月）～平成30年9月28日（金）

調査対象者 漁業関係者、骨材業者、サーフィン利用者

実施期間 平成30年8月19日（日）大磯市開催日

調査対象者 大磯市来場者 100人

実施期間 平成31年1月20日（日）大磯市開催時

調査対象者 大磯市来場者 200人